

個別最適化された学びの実現に向けて

伊丹市立総合教育センター

所長 永嶺 香織

10月末を以て、全小・中・特別支援学校の1人1台タブレットの配備が完了しました。今後は校内LANなどのネットワーク環境の工事を行い、整備の終わった学校から順次、全校生が同時に端末を活用できる「個別最適化された学び」を実践していきます。

文部科学省による教員のICT指導力にかかる調査に、

「授業にICTを活用して指導する能力」という問いがあるのですが、「できる」「ややできる」と回答をした伊丹市の先生の割合は、86.3%と(全国平均は69.8%)全国を大きく上回っています。これは、子どもの学びを豊かにするために、先生方が積極的に実物投影機や大型提示装置等のICTを活用してきた結果です。

今後、取り組まなくてはならないことは、子どもたち自身がICTを積極的に活用して学習を進めることができる力をつけることです。

1人1台端末環境は始まったばかりであり、指導に不安を持つ先生方も多いと思いますが、「個別最適化された学び」を保障し、子どもたちのICT活用力の向上や情報活用能力の育成を図ることは教師としての責務です。

以前、授業支援ソフトの学習履歴機能を使って、自らが前時の学習内容を振り返ってから本時の課題に取り組んでいく授業を参観しました。その授業では、教師が一斉に前時の復習をするのではなく、一人ひとりが端末を使い、前時の学習内容と自分自身の理解度を確認していました。

先生は、その間、机間指導を行い、個々の定着度を把握しておられました。

このように、子どもたちが効果的にICTを活用できるようにするためには、研修や書籍で学び、授業を通して実践を積み重ねていくしかありません。

子どもにどんな力を身につけさせるか ICTを活用した教育の本当の目的とは!?



ICTを活用した教育の目的



1.主体的に学びに向かう力の育成

映像やアニメーション、音声、Webサイトなど、ICTの活用でわかりやすい授業になります。図形問題 をタブレット上で実際に動かして立体的な理解を深めたり、複雑な時代背景やあらすじを映像で見せ ることで学習の動機付けを効果的にできます。子どもたちの興味関心を惹き付け、学習意欲を向上さ せます。



2.個別学習による基礎的・基本的な知識、思考力・判断力・表現力の育成

「個別に最適化された学び」としてICTを活用すれば、一人ひとりの理解度・レベルに応じた出題や、 指導やサポートなどが容易に実現可能になります。



3.協働学習による課題解決力の育成

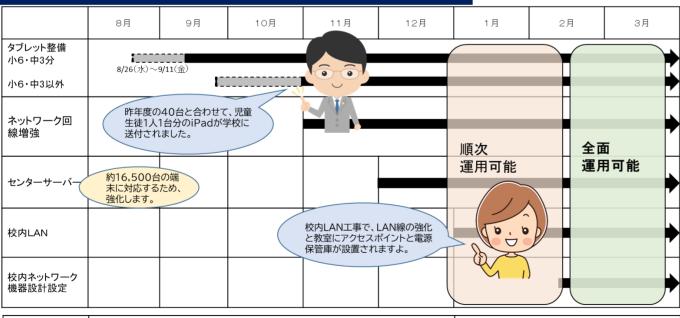
ICTを活用すれば、「協働学習」において瞬時にグループ内の情報共有ができます。お互いの考えを 視覚的に共有し、課題に対する意見整理を端末上で円滑に進めるなどが可能になります。



4.情報活用能力を育成

ICTを活用すると情報をインターネットで収集したり、保存したり、再加工したり、プレゼンテー ションが容易になります。児童生徒がICTを適切に操作できることにとどまらず、ICTなどから得られ た情報を適切かつ効果的に活用する力にも繋がります。

伊丹市のGIGAスクール構想整備スケジュール



工事完了後、順次、 端末の活用状態 各学校での同時接続 100台程度 全校生分の端末が同時接続可能

「兵庫県を調べる」 というテーマで、一 人一人がインター ネットを活用して情 報を収集し、各グ ループで兵庫県下の 各市町について調べ たものを集め、発表 しました。

情報の収集、まとめ



各学校の実践紹介

情報活用能力の育成

Step2

活用応用編 すぐにでも""どの教科でも" "誰でも"活かせる1人1台端末

Step1

活用基礎編

"すぐにでも" "どの教科でも" "誰でも"活かせる1人1台端末

索サイトを活用した調べ等

人一人が情報を検索し、新聞話 画等を収集・整理する

子供たち自身が、アクセスした 様々な情報の真偽を確認・判断す

学習クラブ」にログインして、個 が学習状況に応じたプリントを

ぱされているQRコー 、リンク先の教材を活 ドを読み取り 用する

Step3

教科の学びを深める。

教科の学びの本質に迫る。

数・数学 たとえば・・

関数や図形などの変化の様子を可 視化して、繰り返し試行錯誤する E多角形の基本的な性質をもと

「schoolTakt」にログインし

「schoolTakt」の機能 使って、児童生徒一人一人が 自分自身の考えをまとめてグ

授業支援システムの機能を

教材の配布・回収を行う

応や考えを即時に把握しなが

一斉授業でも、一人一人の反

児童生徒の共同編集で、リ ルタイムで考えを共有しな

ループやクラスで共有する

特別な支援を必要とする子 どもたちに対して、きめ細やか な対応を行

グラミングを通して正多

理科 たとえば・・・

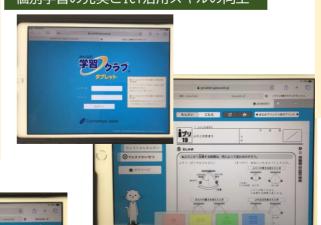
観察、実験 を行い、動 より深く分析・考察す 記録した現象を科学に

数学の授業ではschoolTaktのテンプレー トを使用し、グラフの作図を行っていま す。課題を配布、回収、先生からのコメ ント返却までを行うことで、子どもが主 体的にICTを活用します。授業の効率化 によって生まれた時間を、じっくりと考 える時間に使っています。

教科の学びの深化、思考の可視化

復習として各自が「学習クラブタブレッ ト版」を使って問題を解きました。解答 はノートに書くことで「書くこと」も取 り入れてICTを活用しています。

個別学習の充実とICT活用スキルの向上

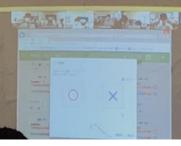


生徒総会ではweb会議システムを使って総会を ライブ配信しました。schoolTaktを使って意 見を集約し、議決しました。

校外活動のバス座席づくりとして、子どもた ちがバスの座席枠に自分の顔写真を貼り付け て共同編集しました。リアルタイムで情報共 有ができました。

ICT活用スキルの向上、情報共有







彗籍紹介



ICT活用関連の書籍を紹介します。

授業力向上(カリキュラム)支援センターにて貸し出ししています。

絞り込み

▼ 条件を指定

Q本制例



伊丹市立総合教育センター

所在地 **〒**664-0898 伊丹市千僧1丁目1番

TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482

月・火・木・金 : 9:00~21:00 開館日

: 9:00~17:00 水・土

日曜・祝日、年末・年始 休館日

総合教育センターHP http://www.itami.ed.jp/

<教育相談>

電話 072-772-6171 (電話相談) 072-780-2484 (来所相談)

お子様に関する様々な悩みや課題、 問題等の相談に応じています。 (来所・電話相談)

月・火・木・金:9:00~21:00 : 9:00~17:00 水 · 土

こまったことがあったらすぐ相談

兵庫県教育委員会 ひょうごっ子SNS悩み相談

